

【会議結果報告】第2回 長崎県2040年研究会

日時	令和元年5月24日(金曜日)10時00分から12時30分		
場所	長崎県庁3階会議室311会議室		
出席者	一瀬委員、柿本委員、菊森委員、小松委員、佐藤委員、船橋委員、山口委員		
事務局	政策企画課		
公開状況	傍聴	不可	結果公表 可 (一部公表を含む)
議題	<p>長崎県の人口減少と2040年にかけてくる危機について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域において、医療、介護、インフラ、公共交通、コミュニティなどをどのように維持・確保していくか ・ 生産年齢人口の減少による労働力不足をいかに補うか 		
議事概要	<p><長崎県の人口減少と2040年にかけてくる危機について></p> <p>○意見交換</p> <p>事務局から資料に基づき説明がなされ、長崎県内における2040年にかけてくる危機について出席者から</p> <p>1. 地域において、医療、介護、インフラ、公共交通、コミュニティなどをどのように維持・確保して行くか</p> <p>① 介護・医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本土、離島の医師不足の対策として、遠隔診療等のICT活用について ・ 予防医療の重要性（はたらく場の提供）について ・ 健康寿命の延伸のための住民意識の浸透について ・ 離島医療について ・ 医療ツーリズムについて ・ 規制緩和（特区、外国人材受入等）について <p>② インフラ・公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車のシェアリングや規制緩和について ・ 広がったインフラの縮小について ・ 立地適正化計画等における商業施設等の適正配置について ・ ライドシェアによる交通混雑の解消について ・ 情報インフラの重要性について ・ 消防サービスの広域化について ・ 公共施設の統廃合、広域化の再検討について <p>③ コミュニティ・教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域でできることは地域で行うことの重要性について ・ 行動力のある人材を受入、行政が後押しする体制作りについて ・ 学生の意識の変化、社会で役立つ力を育てる教育について ・ 小規模な学校のあり方について 		

- ・ 郷土愛の醸成について
- ・ 偏差値教育からの転換について

2. 生産年齢人口による労働力不足をいかに補うか

- ・ 外国人の受入を「労働力」として考えるのではなく、多様性の中で受け入れて行く社会の構築について
- ・ 女性の活躍促進に対する投資の必要性について
- ・ 見えない経費の見える化による生産性の向上について
- ・ 若者が望む職場・仕事づくりについて
- ・ 小中学生の地域で就業体験と地域とのつながりについて
- ・ 一定の所得以下の層に対する支援について
- ・ 出生・子育て環境の整備について

等について発言・意見交換が行われた。

会議における意見については、「長崎県2040年研究会報告書」へ反映・参考とさせていただきますこととしている。